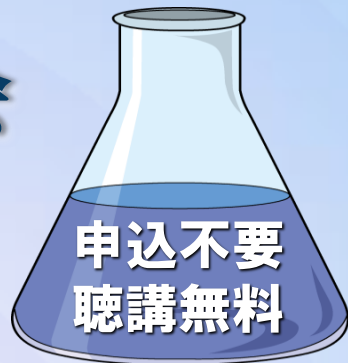


名城大学総合研究所 研究センター中間報告会



日時

平成28年

11月21日(月)

13:00

16:30

申込不要
聴講無料

会場

天白キャンパス 共通講義棟南 2階 202

《プログラム》

13:00 - 開会挨拶 総合研究所長 伊藤 政博

13:10 -
14:10

スポーツ医科学研究センター

研究代表者 梅田 孝

「当センターにおけるスポーツ医科学的手法を用いたスポーツ・研究活動の現状」

本研究センターは我々が有するスポーツ医科学のサポート活動・研究実績に基づいた科学的理論と方法を用い、本学におけるスポーツ活動の振興とスポーツ医科学領域の研究活動の発展に寄与することを目的に設立された。本報告会では我々が昨年度よりこれまで実行したこれらの活動の進捗状況を報告する。

14:15 -
15:15

血栓症予防治療研究センター

研究代表者 原田 健一

「血栓症のテーラーメイド治療を目指して」

近年、我が国では生活習慣の欧米化により心筋梗塞や脳梗塞発症率が年々増加している。本研究センターでは、血栓症の予防を第一の目的に発症リスクを早期に把握する検査法を開発するとともに、副作用の少ない新規抗凝固薬の開発を目指している。研究の進捗状況を報告する。

15:20 -
16:20

現代国際・比較刑事法学研究センター

研究代表者 加藤 克佳

「国際・グローバル社会における国際・比較刑事法学の研究一動向と展望」

本センターは、日本初の「刑事法学」に特化した「国際・比較」刑事法学の研究拠点として設立された。「現代」では、刑事法学も「国際化・グローバル化」の影響を強く受けており、双方向・多方向で国際水準の向上に寄与・貢献する研究が求められる。本報告会では、昨年度からこれまでに行った研究活動の進捗状況を報告する。

16:20 - 閉会挨拶 学術研究支援センター長
原田 健一